

Power By  
MGW2010  
R&D DBMT  
UNI MATRIX ONE  
For Adult Only!

シユビドゥビ



SYUBI DOUBI AI! Version1.0



成年向 (18歳)



エロエロ〜エロエロ



大腿に被弾した俺は  
たまたま現地に  
居合わせたという  
ウィッチ「魔文」の  
治療を受ける事により  
九死に一生を得た。

すまないね、芳佳  
ちゃんだっけ？  
すっかり良くなって  
きたよ。この傷

うごかないで  
くださいよ  
もう

しかし…ウィッチと  
言ってもまだ年端の  
いかない少女じゃ  
ないか…しかも…  
結構な上玉だ。

しかし…キミが  
いなかっただら…  
両足を切断しなきゃ  
いけないよな  
とこだったよ

この治療魔法って  
いらヤツは部位が  
近いせいなのか  
ココにも影響が  
でちまうモノなの  
かな。

あ〜っもお  
またオシリ  
撫でないで  
下さいッ

しかし…こんな最前線で  
若くて可愛い女子に  
介抱してもらえるとほ  
…なんてラッキーなんだ  
ろうな…どさくさに  
まぎれてこういう事も  
できるしな。



またこんなにおつきくして腫らして……

どこまでも献身的な彼女のその奉仕の心俺はこの状況を最大限に利用してもうめいっばいに悪用している。

え？ロで？

う~~~~んツ

嘘は言っていない。射精しなければこの晴れは引かずその大きさも元には戻らない。

将来は医者志望という彼女も……最初はためらい、触れる事も出来ぬ程にはずかしがっていたが……今では唇を使ってもらってる

んツ……んづツ

じゅるっ

じゅる

その彼女の無垢な動きのずこちなさがさらに射精感を後押しする……



もおツ



ちよツ  
やだあ

や

芳佳ちゃん：  
ココ湿って来てる  
んじやない？  
なんかシミに  
なっちゃってるよ



あツ

彼女は拒絶を  
しようとしな  
い。俺は卑怯だ。  
自覚してる。

この数日をかけて  
少しずつセクハラ  
範囲をすすめて来た  
ワケなのだが…  
とっくに拒否されて  
しまってもおかしく  
ない行為にまで…

ホントに…  
怒りますよツ





ほらっ

芳佳ちゃんのココ、えっちなヌルヌルが溢れてきてる

やめっ

ひゃあり

そっ、ソラの昔に俺の傷はとっくに完治しているのだ。彼女もそれに気が付いているはずだろう



ほっ

おっぱいのまきっぱぶっくりしてきてるえっちな芳佳ちゃんすごくかわいいよ。

あッ

俺が被弾した弾は、彼女の撃った流れ弾なのだ。だから彼女は自責の念にかられてこの地に留まり続け、俺の我儘を受け入れてくれるってワケだ。

ほっ

えっ？

引け目を感じている彼女に対し、時間をかけてなまなあとここまで来たが…一線を越えるのは少しだが躊躇した

それって

…ああ

ちゃんと機能が治ったかどうか…試さないとな…

やあ

やッ

痛ッ

未開通の彼女の性器はあまりに小さすぎてなかなか入っていかない俺は痛がる彼女に対し全体重をかけてみた



破瓜の悲鳴をあける  
彼女の幼い性器を  
容赦なくかき分けて  
深々と突き刺さる我が  
男性器。数年ぶりの  
この感じ。忘れていた  
この感触。たまらない

いー痛いッ

ひッ

やッ

痛

油断をしていると即  
押し戻されてしまう  
この感じがたまらない。  
必死の彼女の鼓動まで  
こちらに伝わってくる  
これだけで射精しちゃうだ

あうッ

た……たすけて……  
りー！ネちやん  
り……りー！ネ  
ちやあん……ッ





あッ

はッ

んあッ

あん

あうッ

あ

よ……しか  
ちや……んッ

ああ……お連れ  
あの女の子だっ  
たぶん今頃向  
ここのキャン  
プの連中相手





やあッ

ッ

うーっうーっ

そ...それって

あの子のほっは  
ココに来てすぐ  
ヤラレちゃってた  
みたいだね

みんなもガマンなんて  
できるワケないわなあ。  
こんな真っ白なオシリに  
目の前ウロチョロマレ  
ちゃあなあ.....

リーネちゃん

は

ズ

ズ

そ...そんな

はう

ズ

はッ

ズ











んはあ…

しばらく帰還  
出来そうに無い  
状態なんですよあ

ああ…坂本さん  
ですかあ…え？  
はい…はい…  
定期報告…  
でしたっけ

ふあっ



はい、当分の滞在  
許可のほうで  
お願いします…  
いつそもうずっと  
延期の方向で♪

ホント…手が離せない  
状態になっちゃってるん  
ですよあ…はい、リーネ  
ちゃんもおんなじ様な  
カンジで…二人がかり  
で大変な状態なんです。

あはッ



しばらくぶりだよ  
元気になっておったか？

ん

でもおかげで……この  
烈風丸を鍛え上げる  
事が出来たってワケだ

ん？あぁ……コレか？  
この白いヤツか  
悪くないだろう？  
……うん……うん……

すまなかったな……  
何も言わずに旅に  
出て行ってしまって  
……ちよと色々……な

ん

な……なんだ？  
いきなり押し倒す  
なんて……ちよ  
おちつかんか！



えっ…ああ…確かに  
土方のヤツとは道中  
ずっと同行はしていたが  
それが何か……ん？  
…どうかしたのか

私とヤツとの間に  
なにかあったとでも  
思っておるのか…？  
嫉妬しておるのだな  
…可愛いヤツめ…  
ふっふふふ…

んっ

パ…パカな…  
私はすでに貴様の  
妻のつもりだと  
言っておただろう

あんっ

特に…この一週間  
狭い機内に二人きり  
…若い男女の間に  
もよおすモノが  
湧き出てしまっても

おおっ…  
相変わらず  
立派だなっ

でもまあそう思われて  
しまっても不思議では  
ないかもな…なにせ  
二人きりの時間も結構  
長かったワケだし…

パカモノツ冗談だ！  
何をそんなにいきり  
起たせておるのだ。  
軍人たるもの常に  
冷静に……だぞ？

スッスッ





ちよ...い...息が...  
でき...ない...何を  
そんな本気になって  
怒っておるのだ

この生臭い...  
喉に絡みつく  
この感じ...  
久々の精液...

んほあッ

...って私の話を  
聞いているのか...?  
うらむ、しまった...  
...挑発しすぎた  
みたいだな...



ぶはあ...

こ…こんな貴様を  
見るのは初めて  
だぞ…？…それ程  
までに…嫉妬して  
おるのか？私の事  
独占したいのか？

はぁ…はぁッ

あぁッ

ま…待って…  
いきなり…  
い…挿れ…ッ

んあッ

あッ

はッ

ホントに…何も  
なかったと…言っ  
てるではないかッ  
…う…浮気など…  
するわけなからう

…待てと  
いうのにッ

くっ…こ…こんな  
今日は尚更に…  
太くて…か…硬い  
…猛々しい…

貴様のコレ以外に  
私のオンナを満足  
させられるワケが  
ないだらう…ッ  
バカモノ…ッ

ッ





それほどまでに…  
私を独占したいの  
ならば…この  
貴様の行動で  
決着するのだから

こ…今度こそ…  
確実に…子を  
孕ませるのだぞ

あッ

あッ

んあ

あッ

あうッ

はう

はう

ん

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

隊を維持している  
莫大な資金や支援、  
それがどこから  
来ているかなんて  
今まで想像すら  
していません  
でしたわ

ミーナ、ペリーヌ  
兩名参りました  
入りますッ

中佐はとても  
大事な任務だっ  
て言っていました  
けども…これって

ほらっちゃんと  
顔を御見せ  
しないっつ

あ…あの  
ワ…ワタクシ  
にはやっぱり…  
ム…ムリ…

私の教えた  
とおり…  
丁寧…ね？

…その娘が例の…  
ほあ…なかなかの  
上玉だね…まあ…  
リラックスしなさい

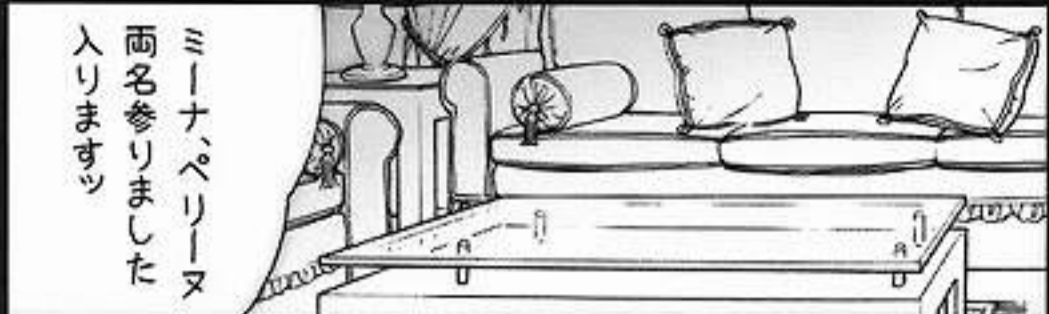
フフ…

この大勢の高官や  
政治家達と一夜を  
共にしなければ  
いけないなんて…

どうして…  
どうしてワタクシ  
こんなコトに？  
どうしてですか？

はい…あいさつ  
しっかりしてね

こ…今夜は…  
いっぱい楽しんで  
下さいまし…





ひいっ

いやですわっ  
ワタクシ  
やっぱりこんなの  
いやですわっ

やあッ

オイオイ、  
なんだまだ  
準備できて無い  
んじゃないのか？

それにすっかり  
怯えてしまっ  
ているじゃないか

ひいっ

……ここは私に  
お任せ下さい。  
しばしお待ちを

フフ…キンチョー  
しなくても  
いいのよ…

さあ…力を抜いて  
リラックスして  
素直になつて心を  
さらけだして

そうよ…  
思い出してきた  
みたいね…  
ペリーヌ

ほほ…

私達が…  
「いつも」してる  
ようにすれば…  
いいだけなのよ

あ…そ…そうですわ  
ワタクシあの一件  
以来、ずっと毎晩…  
中佐の調教を受けて  
…それ…で…えっと

ああ…  
ちゆう…



ああ…頭がもう  
ボーっとして…  
何も考えられ  
ませんわ…

おほっこの娘  
自分からむしゃ  
ぶりついて  
きよるわ。

んむっ

うっ…

あむ…ん

アナタ、カラダは  
ちやあんと覚えて  
いたのね。

ん

「あの時」と同じ…  
このざわつく…  
せつない感じ  
…ああ…アタマが  
おかしくなりそう

んん

舐めてるだけで  
ココが濡れておる  
じゃないか。

んっ

こんな新人が  
キミの隙にまだ  
隠れていたとは  
なあ

知ってますわこの味…  
この感触…匂い…  
硬くて熱くて…  
脈打ってる…おちんぽ  
おちんぽ…美味しいッ

んんん

さあ、ペリーヌ…  
教えたとおりに  
お願いしなさい

あ…ほ…はい……  
ワタクシのみだらな  
い…いやらしい……  
オ…オマンコ……に……

オジサマ達の嬉しい  
お…おちんちんを……  
挿れてくださ……い……

ワ…ワタクシ…  
じ…自分から…  
求めている…  
男性の…アレを  
欲しがって…るう

こ…心ゆくまで……  
可愛がって下さい……  
まし…お…願ひ……  
します…の……

ほ…う

ほ…う

では、遠慮なくこの  
娘を賞味させて  
もらおうとするかね

見事だ、中佐  
短期間によくぞ  
ここまで猿たモノだ  
さすがだな。

ワシも年甲斐も  
なく、いきり立って  
しまったよ…フフ

あめ…



ケモノや犬のように……  
四つんばいの格好で  
貫いてやろう

あひッ

判

ひいッ

たしかガリアの  
貴族出身だとが  
高貴な血筋じゃ  
ないですかね  
御馳走ですな。

はッ

膣内から  
押し返される  
程のキツマ……

うッ

はッ

あう

自分の孫ほどの年頃の  
娘を抱く愉しみは……  
なかなかやめられる  
モノではないぞ？



あん

私は中佐のような  
豊富な女性のほうが  
好みですがね〜

このこぼれる様な  
たわわな乳房とか  
何度抱いても  
たまらんですなあ

あッ

アハッ

普段の気丈な隊長像  
からは想像できない  
変貌ぶりも大きな  
ポイントですかな

ありがとう  
御座います

この…肢体  
心ゆくまで

御存分に…  
満喫下さい





**For Adult only !**